

様式1

平成31年度 学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校事業 実施計画書

1. 学校の概要

ふりがな	いのちようりついのみなみしょうがっこう				ふりがな	いとうひろあき			
学校名	いの町立伊野南小学校				校長名	伊藤 浩昭			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
児童数等	24	19	31	22	37	30			
生徒数等	特別支援学級	計		教員数	ふりがな	まついあや			
	11	児童/生徒数	学級数	18	推進教諭名	松井 綾			
		174	9						

2. 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 ～特別支援教育を視点においた「分かる・できる」授業づくり～

3. 研究主題設定の理由

本校は困り感を持っているであろう児童が約3割在籍し、学習や学校生活において支援を要する児童が多い。平成28年度からは、学校図書館を活用した「主体的・協働的に学ぶ探究的な授業づくり」ができるように実践研究を進めてきたが、全体での話し合いが深い学びとなるような児童一人ひとりの学びの保障や、深い思考ができるような教師の切り返し発問など、話し合い活動を活性・深化させることが課題となっている。

平成30年度全国学力・学習状況調査の国語においては【内容の読み取り】に課題が見られ、高知県学力・学習状況調査の国語においては【条件に合わせて指定された文字数で書く】【目的や意図に応じて書く】、算数においては【情報の読み取り】【判断の理由について根拠を明確にして書く】、理科においては【観察や実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する】ことなどに弱さが見られた。そして分析から、【正確に文章を読むことや、根拠をもとにして自分の考えを書くこと、また、他者の考えが正しいかどうかを判断し、その理由を目的に合わせて書くこと】に共通の課題があると考えた。

そこで、支援を要する児童にとっても「分かる・できる」授業となるよう、特別支援教育に視点をおいた授業づくりをさらに進め、児童が仲間と関わりながら主体的に取り組めるよう、対話や学び合いの工夫により、話し合い活動を活性化させ、児童一人ひとりがより深い学びとなるような授業実践を行いたい。また、学校図書館を活用して、読解力を支える語彙力の強化や文章を読む力を伸ばし、それによって情報を正確に理解し、適切に表現する能力の育成も図っていきたいと考え、本研究主題を設定した。

4. 研究仮説

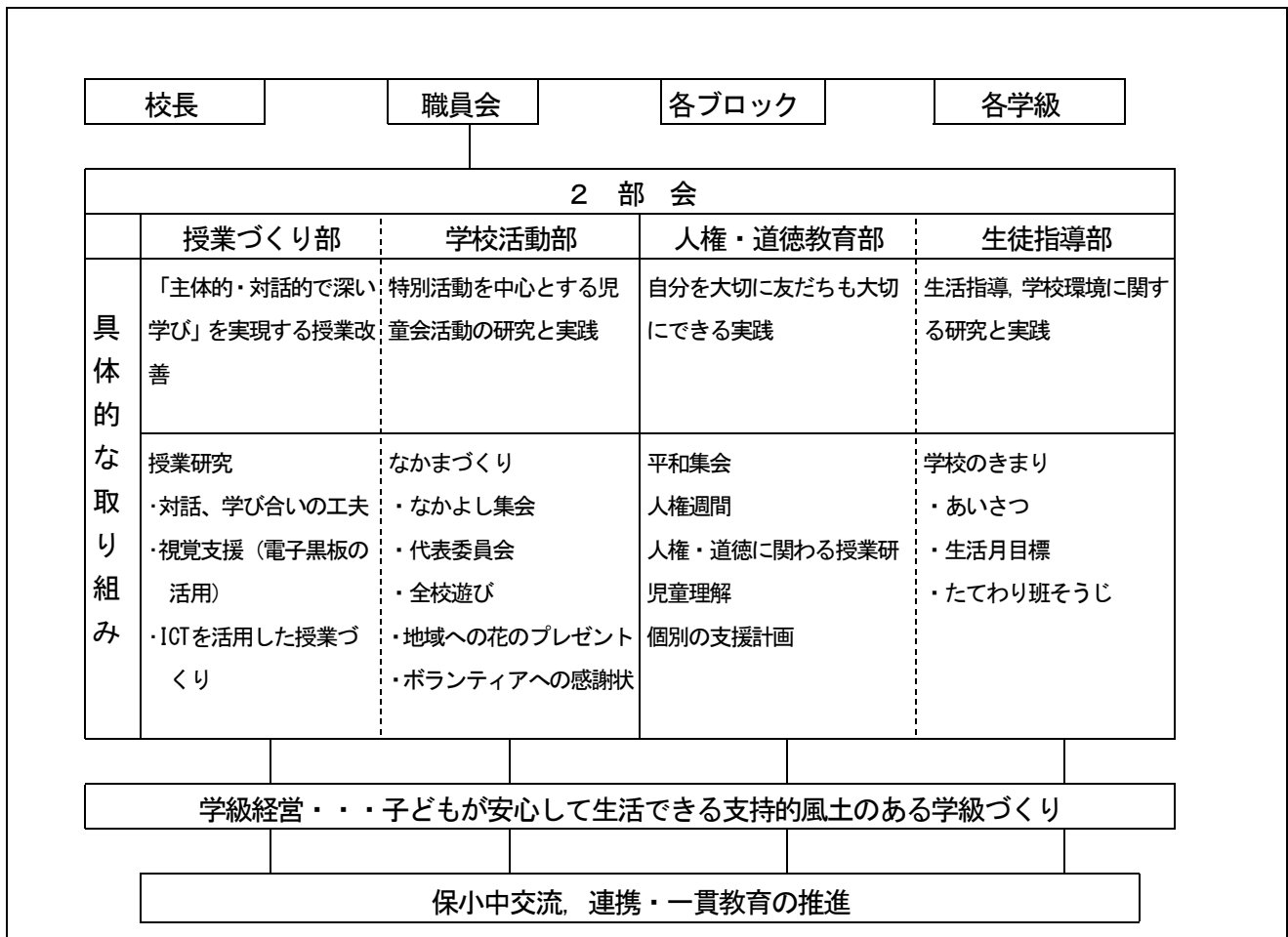
特別支援教育の視点に立った「児童一人ひとりがより深い学びとなるような授業実践」を行えば、支援を要する児童にとっても「わかる・できる」授業となるだろう。そのために、以下の4点を意識して授業改善を図っていく。

- ① 「つなぎ言葉」を使った話し合い活動の活性化。
- ② 低学年ではMIMの活用を、中・高学年では国語辞典を活用した語彙力の育成。
- ③ 学校図書館が「読書センター・学習センター・情報センター」としての機能を果たせるように、いの町立図書館と連携を図った図書館環境の整備。
- ④ 国語科の授業では、単元を通して児童に付けたい力を教師自身が明確に持ち、図書や新聞を活用した授業の実践を行う。

5. 方法及び内容

1. 少人数による話し合いのある授業づくり
 - ・児童同士が考えや意見等を述べ合う際に、「つなぎ言葉」を意識して使い、友達の意見に対して主体的に関わろうとする対話のある授業。
2. 語彙力の育成
 - ・多層指導モデルMIMを活用した「読み」のアセスメント・指導を年間30時間行い、文字や語を正確に、素早く読む力を育むことで、読解力向上へとつなげる。
 - ・各教科等で国語辞典を必要に応じて活用し、語彙の習得に努める。
3. 学校図書館活用の充実
 - ・学校図書館・新聞活用年間計画に沿って、推進教諭が主となり、各学年の学習活動を充実させる。
 - ・いの町立図書館と連携を図り、図書館の活用の仕方や学習資料の提供に努める。
 - ・図書委員会で、辞書引き大会や百人一首大会などイベントを開催し、図書委員会の活性化を図る。
4. 国語科を中心とした情報活用能力の育成を目指した授業研究
 - ・単元のゴールを明確にする。(1つの単元の中で児童に付けたい力を教師自身が明確に持つこと。) そのゴールへ向かうために、児童にどんな能力が必要かを教師自身が見極め、授業を仕組んでいく。その際に、学校図書館を活用した並行読書や調べ学習、新聞、国語辞典等を活用し、情報の中から取捨選択する力や自分の意見を文章にまとめる力などを育成する授業を目指す。

6. 研究体制



7. 検証

達成目標	指標	時期
○全国平均以上	・全国学力・学習状況調査国語	4月
○高知県平均以上	・高知県学力定着状況調査国語	3月
○85%以上	・児童の学校図書館利用率	6～2月
○教師の授業力の向上 (年度当初より5%アップ)	・授業力チェックシート	1月

8. 成果普及の方法

普及内容	方法	時期
・研究内容や研究の成果 ・実践事例	・研究発表会、公開授業 ・ホームページへのアップ	6月以降 随時

9. 年間事業計画

	校内研修等	公開授業・研究発表会 ※校外に案内する会	校外研修・視察等
4月	○授業づくり部・提案 今後の研究の方向性の確認 ◇18日(木) 本事業に係る趣旨説明		・11日(木) 本事業に係る研修会及び指定校連絡協議会
5月	○研究推進4部会・授業づくり部会 ◆全国学力・学習状況調査の校内採点と分析 ◇MIM活用研修 講師：言語聴覚士 矢野友子先生 ○図書購入計画作成		・14日(火) 学校図書館研修会・国語科授業づくり講座(蓮池小) ・17日(火) 国語科授業づくり講座(鏡野中) ・23日(木) 学校図書館研修会・高知県学校図書館協議会総会
6月	○研究推進4部会・授業づくり部会 ◇17日(月) 校内研(伊野南保小中交流会①) 「特別支援教育の考え方を授業づくりに生かすために」 講師：高知大学 是永かな子准教授 ◆第1回授業力チェックシート ◆第1回MIM調査 ・学校新聞づくりコンクール取組	■公開授業(5年：国語) ■18日(火) 全校研究授業(2年：国語) 「主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり」 講師：兵庫県たつの市立新宮小学校・石堂裕教諭	・19日(水) 国語科授業づくり講座(蓮池小) ・21日(金) 学校図書館研修会・国語科授業づくり講座(鏡野中)
7月	○研究推進4部会・授業づくり部会 ◇5日(金) 訪問 「特別支援教育の考え方を授業づくりに生かすために～児童の見取りと手立て」 講師：高知大学 是永かな子准教授 ・第1回辞書引き大会 ◆第1回図書館アンケート ○25日(木)		

	伊野南保小中教職員交流会予定②		
8月	◆到達度把握テスト（CRT）分析 ・学校図書館環境整備 ・2学期以降の研究計画の確認		
9月	○研究推進4部会・授業づくり部会 ◆全国学力・学習状況調査分析		・24日（火）学校図書館 研修会・国語科授業づ くり講座（鏡野中） ・27日（金）国語科授業 づくり講座（蓮池小）
10月	○研究推進4部会・授業づくり部会 ◆学校新聞づくりコンクール応募	■公開授業（4年：国語） ■11（金）午後日程 「読みを鍛える」研究発表会 『主体的・対話的で深い学び』 に向けた授業づくり～特別支 援教育を視点においた「わか る・できる」授業づくり～ 全校研究授業 1年 国語 3年 国語 6年 国語 講師：兵庫県たつの市立新宮小 学校・石堂裕教諭	
11月	○推進4部会・授業づくり部 ◆第1回辞書引き大会 ◇29日（金）訪問 「特別支援教育の考え方を授業づくりに 生かすために～児童の見取りと手立て」 講師：高知大学 是永かな子准教授		・5日（火）国語科授業 づくり講座（鏡野中） ・8日（金）学校図書館 研修会・国語科授業づ くり講座（蓮池小）
12月	○研究推進4部会・授業づくり部 ○第1回百人一首大会 ◆読書感想画応募 ◆高知県学力定着状況調査（4、5年）		
1月	○研究推進4部会・授業づくり部 ○伊野南保小中教職員交流会③ ○本年度の研究総括 ○第2回百人一首大会 ○高知県学力定着状況調査校内採点と分析 ○次年度学校図書館経営計画作成 ◆第2回MIM調査		・14日（火）高知県学校 図書館協議会（オーテ ピア高知図書館）
2月	○研究推進4部会・授業づくり部 ◆高知県学力定着状況調査結果の分析と重点 取組の確認 ◆次年度の研究構想検討 ◆第3回辞書引き大会 ◆第2回授業力チェックシート ◆第2回図書館アンケート		・15日（土）高知県学校 図書館協議会読書感想 文・画表彰式（オーテ ピア高知図書館）
3月	◆1年間の総括 ◆次年度の研究計画		